

上級システムアドミニストレータ連絡会
システム「担当者」のお悩み解決！セミナー2008
～「システム担当者の孤独」を解消します～



上級システムアドミニストレータ試験概要

- The Final -

2008年7月20日

上級システムアドミニストレータ連絡会

正会員 田中 宏幸

自己紹介

- 田中 宏幸（昭和51年生まれ、辰年）
帝塚山大学（所在地：奈良県奈良市）
メディアセンター 情報教育研究センター課勤務
担当業務：システム運用保守および一般事務
（教員ではなく事務職員です）

- 上級シスアド連絡会 正会員・役員（会員情報管理）
- 経済産業省情報処理技術者
 - ・ 上級システムアドミニストレータ（平成18年度）
 - ・ 情報セキュリティアドミニストレータ（平成15年度）
 - ・ 初級システムアドミニストレータ（平成13年度）

本日お伝えしたいこと

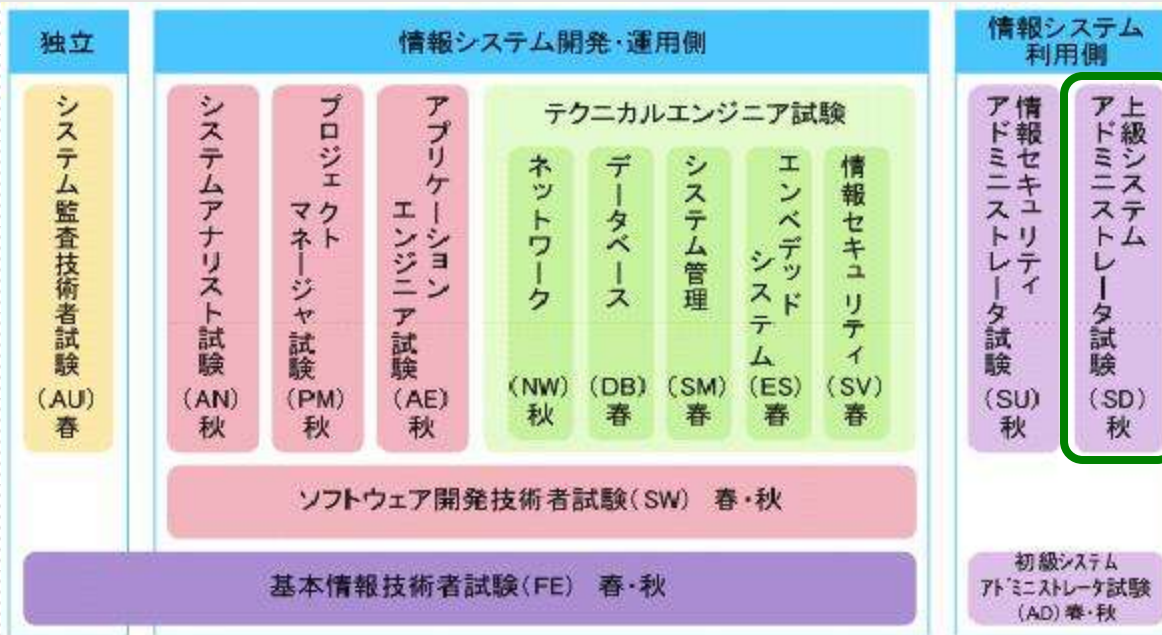
- 上級シスアド試験とは？
- 上級シスアド試験の出題範囲は？
- 上級シスアド試験受験のメリットは？

上級シスアド試験とは？

(1) 情報処理技術者試験とは？

経済産業省が「情報処理の促進に関する法律」に基づき認定している国家試験です。

(2) 上級シスアドの位置付けは？



情報システムの利用者側
 にあって情報技術の有効
 活用を図るための知識・
 技能を問う試験

独立行政法人 情報処理推進機構
 情報処理技術者試験センターHPより引用。
 以降、同様。

上級シスアド試験とは？

(3) 対象者像

利用者側において、業務の中でどのように情報技術を活用すべきかについて判断するために必要な知識・技能をもち情報化リーダーとして業務改革・改善を推進する者

↑などと難しそうですが、実際は... (私の場合)

- ある時は**パソコン駆け込み寺**：いわゆる「システムに詳しい人」
- ある時は**プロマネ**：経営層に業務改善の必要性を説き、経営課題の解決策としての情報システム導入を提案、予算を確保
- ある時は**調整役**：システム導入に向けてベンダや部門間の調整役
- ある時は**火消し役**：システムトラブル時に対応に追われる

などなど、事態に合わせて何役もの役割をこなしています。
正直「どうしたらいいのかな・・・」と悩むこともあります (涙)

上級シスアド試験とは？

(4) 上級シスアドの役割と業務

企業・組織のビジネス活動、業務活動の中心的役割を果たす立場において、業務改善と情報化に関するPDCAサイクルを主導する。

すなわち、経営戦略及びビジネス戦略を理解したうえで、業務システム及び情報システムの面で、次のような役割を果たす。

<業務システム>

- ①業務モデル、業務プロセス変革の企画に参画するとともに実施計画を立案し、実施環境を整える。
- ②新しい業務モデル、業務プロセスの具体的な実施内容を作成し、改革の活動を指導する。
- ③新しい活動の効果を評価し、更なる改善にフィードバックさせる。

<情報システム>

- ①業務モデル変革に適合する情報システム化のRFP作成、ITベンダへの提示・評価作業に参画し、経営層を支援する。
- ②システム開発の進捗状況と完成度を把握し、受入れ、運用準備を行うとともに、稼動開始に必要な各種事項を決定、指示する。
- ③日常業務の一環として、システムの運用状況・利用状況を継続的に把握し、システム化の達成度を評価して改善要求につなげる。
- ④経営層の行うビジネス戦略、情報戦略の立案・評価に参画し、支援する。

上級シスアド試験とは？

(5) 上級シスアドに期待する技術水準

情報化戦略が経営戦略を実現させる大きな要素となっているなか、上級システムアドミニストレータは、業務遂行側の立場で、情報技術を生かした業務革新の提案、必要となる情報システムの実現、新システムの活用・評価の担い手として、次の幅広い知識・経験・実践能力が要求される。

- ①経営、マネジメント、情報技術に関する全般的な知識をもち、ビジネスの動向、情報技術の動向を正しく捉えられる。
- ②電子商取引などの情報技術を活用した最新経営技術動向、情報技術動向を理解し、業務モデル変革の企画立案に参画できる。
- ③業務モデルの策定、理解に当たって、幅広い視点、視野をもち、全体としての最適ソリューションを考えられる。
- ④情報システムの提供者側との検討の場において、ビジネス、業務、システムを抽象化し、適切な機能モデルを作成できる。
- ⑤自企業・組織の現状や業務を、他社状況、市場状況などを踏まえて正しく分析し、問題点を明確にできる。
- ⑥問題点を整理し、優先順位を考慮した解決策を策定できる。
- ⑦解決策に関する費用対効果分析、リスク分析を行い、その結果を経営層に説明できる。
- ⑧解決策に基づく業務、組織、システムの設計を行い、実現させる。
- ⑨解決策に対する効果目標及び評価基準を設定し、達成度を評価できる。
- ⑩計画に対する管理、必要に応じての適切な対応策をとることができる。
- ⑪システムの活用においては、イントラネットを活用した情報発信の促進、情報の質的向上を図るなど、情報技術を活用した業務の改革・改善を考えられる。

上級シスアド試験の出題範囲は？

(1) 午前試験

①コンピュータシステム ＜技術レベル：中程度＞	1. ハードウェア
	2. 基本ソフトウェア
	3. システムの構成と方式
	4. システム応用
②システムの開発と運用 ※重点分野 ＜技術レベル：最も高度＞	1. システムの開発
	2. システムの運用と保守
③セキュリティと標準化 ＜技術レベル：中程度＞	1. セキュリティ
	2. 標準化
④情報化と経営 ※重点分野 ＜技術レベル：最も高度＞	1. 情報戦略
	2. 企業会計
	3. 経営工学
	4. 情報システムの活用
	5. 関連法規

上級シスアド試験の出題範囲は？

(2) 午後試験

①業務システム改善企画の立案に関すること

業務体系の把握、業務内容の調査・分析、情報技術を活用した業務改革・改善、業務システム改善の企画、業務システム改善案の費用対効果分析・優先順位付け・事後評価、情報システムの企画・提案・実現・評価 など

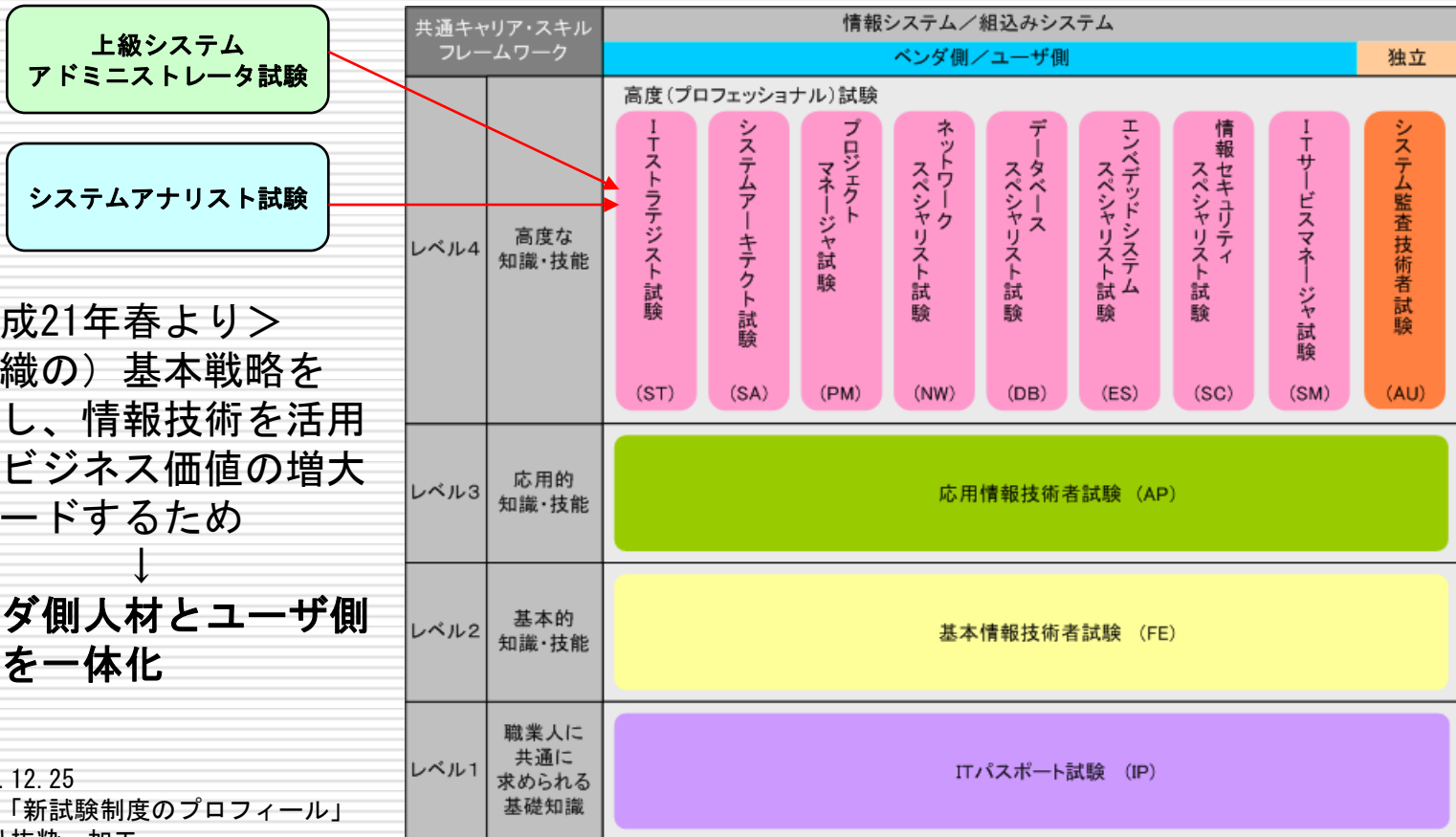
②情報システム構築のためのマネジメントに関すること

機能・性能要求の設定、安全性・信頼性・障害対策要求の設定、運用・保守要求の設定、ソフトウェアパッケージの選定、ヒューマンインタフェースの設計・開発、システム企画・システム設計・運用計画のレビュー、テスト基準・テスト手順の作成、テストの実施と評価、検収 など

③情報システム利用のためのマネジメントに関すること

システム利用の促進、情報化推進のための教育体制、教育メニューの立案、情報化推進のための組織・体制の立案、業務マニュアル・運用マニュアルの整備・オンライン化、データの活用、システム運用・情報システムの状況把握、セキュリティ対策、知的所有権 など

参考：新試験制度の体系



上級シスアド試験受験のメリットは？

□ 受験勉強をすることで次のメリットが得られます

① 業務経験・スキルの棚卸を通して「自信」が蘇る

午後2の論文試験では、これまでの業務棚卸が必要です。

この作業により、自己分析ができるので、自信が蘇ってきます。

② 文章力・構成力・論理的思考力の向上

特に午後1、2の勉強で磨かれます。

ビジネス書では流行のテーマですが、実力として身につきます。

③ 視野の拡大

「業務改善」というキーワードでのアンテナが磨かれるため、

「仕事力」をアップする情報が自然と集まり始めます。

ご清聴ありがとうございました。

secuadcom@ybb.ne.jp

<http://secuad.com>

ぜひ、JSDG会員になって
京都きづき塾にご参加ください！

<http://www.jsdg.org/>